

1-B-9.

横浜から札幌までの内航船舶及びJRコンテナによる幹線輸送 ＜日清オイリオグループ(株)＞

1. 概要

シフトした輸送機関	トラック ⇒ 鉄道・船舶
輸送ルート	東京港 → 苫小牧港 横浜本牧駅 → 札幌貨物ターミナル
主な対象貨物	食料品
月間取扱貨物量	970トン／月
荷姿	段ボール箱、紙袋・布袋、コンテナ
出荷頻度	ほぼ毎日

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 環境問題への対応

2) 狙い

- ・ 地球温暖化ガス排出量の削減といった環境問題に対応するため。

3) 導入の経緯

- ・ かつて北海道に製造工場があり、そこで製造していない商品については以前より横浜から船舶にて輸送を行っていた。製造工場停止後は全てを船舶・鉄道で行っている。

3. 対策効果

- ・ 鉄道や船舶はトラックと比べ、一度に大量の商品を輸送することが出来るため輸送効率が良く、また地球温暖化ガスの排出がトラックと比較すると非常に少ないため環境負荷の低減にも貢献している。

4. 事業内容

